

# コバノヒノキシダ

*Asplenium sarelii* Hook.

## チャセンシダ科

石川県カテゴリー 絶滅危惧Ⅱ類

国カテゴリー 該当なし

### 選定理由

生育地が稀で個体数が少ない。(現況:R-)

### 形態

葉は短く斜上した根茎から集まって出る。葉身は卵形、2回～3回羽状複葉で深く切れ込む。葉柄の基部に鱗片をつけるが鱗片には毛がない。羽片は長三角形で柄がある。裂片はくさび形で鋭い鋸歯があり、孢子嚢群を1～3個つける。包膜は細長い楕円形である。

### 国内分布

本州、四国、九州、屋久島、種子島、小笠原諸島。

### 県内分布

加賀中央区、南加賀区。

### 生態など

常緑性の着生植物または半地中植物である。やや好陽地性があり、耐石灰岩性が少しある。繁殖は孢子による。孢子は初夏に熟し始め、風で散布する。

### 生育環境

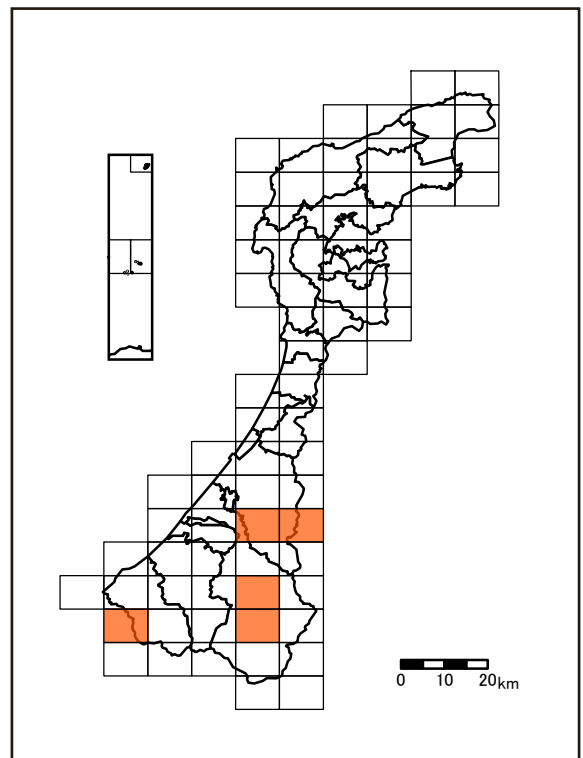
山野の岩上、岩壁ときには路傍の石垣の間に生育する。

### 危険要因

道路工事、自然遷移、産地局限、その他(石垣改修)。



白井伸和・2002年7月26日



県内の分布